

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部子ども総合センター
	03180-1	療育相談事業	室名	子ども支援室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	02:子育て支援	務	款 民生費
体系	施策の方向	02:すべての子育てを支援するしくみづくり	科	項 児童福祉費
	戦略プロジェクト		目	目 児童福祉総務費

② 目的・概要	対象	障がいがある(うたがいがある)子どもとその家庭
	目的	障がいのある(うたがいがある)子どもへの早期フォローと、家庭への支援。
	概要	発達につまずきがある子どもとその家庭を対象に、療育的視点(子どもの発達に合わせた治療教育的な関わり)を取り入れた相談を個別や集団で行う。

			27年度	28年度
①	名称	個別療育	計画値	
	補足	個別の特性に応じた目標を立てて療育を実施。	実績値	57
②	名称	集団療育	計画値	
	補足	小集団でのグループで集団適応等の目標を立てて療育を実施。	実績値	328
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績				個別の支援が必要な児童に対して個別療育を行った。 年間 57回 実人数 10人 集団での適応等目的に応じ、原則10回を1クールとし、5名の小グループで集団療育を行った。 年間 328回、実人数 36人 なお、夏休み期間には、休み中の過ごし方、生活リズムづくりを目的とした、幼稚園年少児・年中児を対象に集団療育(6回)を行った。			
	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,662	平均給与額×③
	国庫支出金		4,010	3,917	一般職員人件費 ②	3,662	
	県支出金				所要人員 ③	0.50	
	地方債				臨時職員人件費 ④		
	その他				受益者負担額 ⑤		
	一般財源		4,010	3,917	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額					
		前年度からの繰越額					
		総人件費		①	3,662		
	総コスト		⑥	7,579			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	子どもの発達の特徴に合わせて訓練的な要素を取り入れた遊びをもとに、子どもの発達促進につなげた。また、主な養育者となる保護者に対して具体的な関わりの方針についてアドバイスを行いながら、育児の不安、負担の軽減につなげることができた。草の実リハビリテーション職員と連携を取り合う中で、専門的知識を習得、資質向上につなげることができた。	総合判定
			B まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	幅広い障がい種別に対応できるような療育体制の整備が必要である。(特に専門的な知識を要する肢体不自由児や医療的なケアが必要な児について)
	【改善の方向性】	今後も草の実リハビリテーションセンター職員との連携により当室職員の資質向上を行っていく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 子ども支援室長 宇野 勉
--------------	---------	-----------------------